

ご挨拶

2012年10月に長崎県、長崎市及び長崎大学が共同して組織した核兵器廃絶長崎連絡協議会が設置され7年目となりました。

その間、世界の核軍縮などの専門家と市民との交流を図るための特別市民セミナー、核兵器廃絶市民講座「核兵器のない世界をめざして」の開催、人材育成としての「ナガサキ・ユース代表団」の国際会議への派遣、核弾頭・核物質ポスター及びしおりの作成・配布による県民市民の皆さまへ情報発信などの周知活動を行いました。

2017年度にはノーベル平和賞受賞のICANのベアトリス・フィン事務局をお招きし、また、2018年度には、米国オバマ政権で核政策を担当したジョン・ウォルフスター元大統領特別補佐官や長谷川毅カリフォルニア大学名誉教授を講師にお招きしての特別市民セミナー等を開催致しました。

「被爆地ナガサキ」からの核兵器廃絶の訴えを継承すべき次世代の育成も急務となっています。このような中で、7年目を迎えた本協議会は、長崎大学核兵器廃絶研究センター(RECNA)、長崎県及び長崎市と連携し、核兵器のない世界をめざして、地域の皆さまからのたくさんのお声に耳を傾け、被爆地からの熱い想いを全世界に発信していく所存です。

2019年 4月1日  
核兵器廃絶長崎連絡協議会  
会長 調 漸

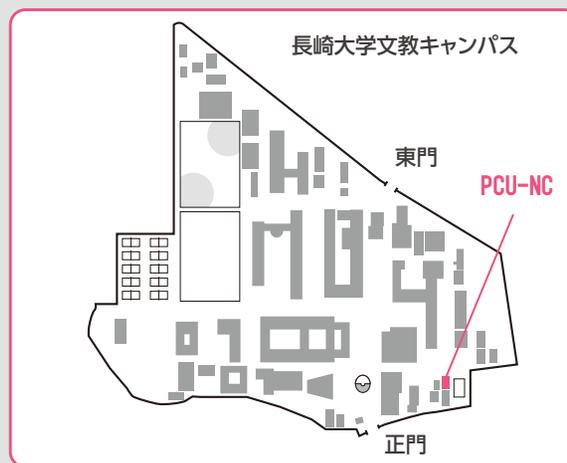


役員・委員

役員	会 長	長崎大学学長特別補佐
	副 会 長	長崎県文化観光国際部政策監
	副 会 長	長崎原爆資料館長
	監 事	国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館長
委員	事務局 長	長崎大学学術情報部長
	事務局 次長	長崎県文化観光国際部国際課長
	事務局 次長	長崎市原爆被爆対策部次長兼平和推進課長
	委 員	長崎大学核兵器廃絶研究センター長
	〃	長崎大学核兵器廃絶研究センター副センター長
	〃	長崎大学核兵器廃絶研究センター 准教授
	〃	公益財団法人長崎平和推進協会事務局長 長崎大学学術情報部学術情報管理課長
顧問	顧 問	長崎県知事
	〃	長崎市 長
	〃	長崎大学 長

アクセス

ACCESS



核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC) 事務局

〒852-8521 長崎市文教町1-14  
長崎大学核兵器廃絶研究センター内

Tel: 095-819-2252

Fax: 095-819-2165

URL: <http://www.recna.nagasaki-u.ac.jp/recna/pcu>



- JR 長崎駅から (赤迫方面電車乗場)  
路面電車 (赤迫行) → 「長崎大学」下車
- 長崎空港から (4番バス乗場)  
県営バス (昭和町・浦上経由長崎方面行) → 「長大東門前」下車

# PCU-NC

## 核兵器廃絶 長崎連絡協議会 PCU-Nagasaki Council





## 核兵器廃絶長崎連絡協議会 (PCU-NC) とは？

「長崎が核攻撃を受けた人類最後の都市に」と願う長崎県民、市民のため、長崎県、長崎市、長崎大学の三者が一体となって、核兵器廃絶に取り組むための枠組みを構築することが検討され、2012年10月4日に核兵器廃絶長崎連絡協議会(PCU-NC)を設立いたしました。

また、一般会員の長崎県、長崎市、長崎大学に加え、長崎平和推進協会及び国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館も特別会員として参画しております。

※英語協議会名中の「PCU」は県(Prefecture)・市(City)・大学(University)の協同を意味しますが、各語には展開せず常に一語として扱います。



事務局  
長崎大学核兵器廃絶研究センター内  
運営資金  
長崎県、長崎市及び長崎大学から拠出

## 主な事業

### 核兵器廃絶市民講座

～核兵器廃絶市民講座「核兵器のない世界をめざして」～

長崎大学核兵器廃絶研究センター (RECNA) の研究スタッフや専門家を招いて市民講座を開催します。講座は原則全6回で、そのうちの1回は長崎市外で開催します。

それぞれの講座で様々な専門家が市民に向け核兵器のない世界をめざすためにわかりやすく講演します。

### 特別市民セミナー

核兵器廃絶・軍縮・不拡散に関する専門家などを招へいして、市民のみならず「特別市民セミナー」として講演会を年に数回開催しています。

### グローバルネットワーク化支援

長崎県内で開催される世界の核軍縮・不拡散等の専門家会議と市民・学生等との対話・交流の場の提供や北東アジア非核化の実現をめざす「ナガサキ・プロセス」構築など、グローバルネットワーク化を支援します。



### ナガサキ・ユース代表団

次世代を担う若者の人材育成プロジェクトとして、長崎県内から選抜された大学生世代の若者を、核不拡散条約 (NPT) 再検討会議 (ニューヨーク) を始めとする国際会議等に派遣しています。2013年の開始以降、第6期生までに延べ58名が参加し、核軍縮・不拡散外交の最前線で学ぶとともに、世界各地の人々とのネットワークを広げてきました。

また、帰国後には日本各地の小・中学校や高校で「出前講座」を行うなど、さらに若い世代への継承活動にも力を入れています。

毎年作成している活動報告書も、第6期生まで重ねてきました！  
※詳しくはHPをご覧ください。

